

## <FIM 世界耐久ロードレース選手権> 「F.C.C. TSR Honda France」が逆転で2度目の年間チャンピオン獲得

2022 FIM<sup>※</sup>世界耐久ロードレース選手権（以下、EWC）最終戦 ボルドール 24 時間レースが、9月17日から18日にかけてフランスのポール・リカルド・サーキットで開催され、ランキング2位につけていた「F.C.C. TSR Honda France」が、逆転で年間チャンピオンを獲得しました。F.C.C. TSR Honda France のタイトル獲得は、2017-2018 シーズン以来 4 シーズンぶり 2 度目になります。

※ FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称



F.C.C. TSR Honda France



CBR1000RR-R FIREBLADE SP

F.C.C. TSR Honda France は、ライダーにジョシュ・フック選手（オーストラリア 29 歳）、ジーノ・リア選手（英国 33 歳）、マイク・ディ・メリオ選手（フランス 34 歳）の3名を擁し、マシンは Honda「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」の体制で、2022 年シーズンの EWC 開幕をむかえました。

フランスで開催された開幕戦 ル・マン 24 時間レースでは、予選で獲得した 3 番手からスタートし 3 位表彰台を獲得しました。続く第 2 戦はベルギーのスパ・フランコルシャン・サーキットで開催されました。4 番手からスタートしたものの、一旦は 10 番手まで順位を落としましたが、レース終盤までに 4 番手まで順位を戻し、最終ラップでリア選手がし烈な戦いを制して再び 3 位を獲得しました。

第 3 戦 鈴鹿 8 時間耐久ロードレースは、三重県の鈴鹿サーキットで 3 年ぶりに開催されました。決勝前日のフリー走行中にリア選手がシケインで転倒、ドクターヘリで病院に搬送されたため、フック選手とディ・メリオ選手の 2 名で走ることを余儀なくされました。予選 4 位を獲得しむかえた決勝レースでは、トラブルに見舞われたものの、粘り強い走りで順位を回復し 10 位で完走しました。

最終戦 ボルドール 24 時間レースは、ポイントランキング 1 位と 23 ポイント差の 2 位で挑みました。このレースではリア選手の代わりに、2017-2018 シーズンにチャンピオンを獲得した時のライダーであるアラン・テシェ選手（フランス 28 歳）を起用し、逆転でのタイトルに望みを繋げました。現地時間 17 日 15 時にスタートした決勝レースは、4 番手からスタートしましたが、2 度のトラブルにより一時は 28 番手まで順位を下げましたが、その後は着実に周回を重ね順位を回復し、24 時間後の 18 日 15 時には 4 位でフィニッシュ。チャンピオンを争うチームが次々とリタイアしたこともあり、逆転で F.C.C. TSR Honda France の EWC 年間チャンピオンが決定しました。

### ■F.C.C. TSR Honda France ジョシュ・フック選手

「過去の経験からチェッカーを受けるまでは油断はできないと思っていました。僕たちは過去にもさまざまなシチュエーションから復活してきましたが、確実なことはどこにもありません。皆がそうであるように、諦めずに自分たちのレースをしてきました。3人とも特に夜間走行が速く、いい走りをしたと思います。この大会で優勝するのは難しいと分かり、チャンピオン獲得を最優先としました。他の多くのチームが直面したトラブルを避けるために、可能な限りエンジンを労りながら走行し、最後まで走り切ることができました」

### ■F.C.C. TSR Honda France マイク・ディ・メリオ選手

「ついに世界耐久ロードレース選手権のチャンピオンになることができました！過去にもチャンピオンまであと一歩のところに行ったこともありましたが、長い間求め続けていたタイトルをやっと獲得することができてとても誇りに思います。とてもタフなレースでした。周りが1台、また1台と止まっていく中、僕たちもトラブルに見舞われていました。TATI TEAM BERINGER RACING（カワサキ）が上位で争っている時、トラブルを避けるために追っていたマシンと十分な距離を取ることにしました。彼らのタイトル争いが難しくなった後は、ストレートでの早めのシフトアップでエンジンを温存する計画へと変更しました。表彰台を獲得するよりもタイトルの獲得が大事だったので、正しい選択をすることができたと思います」

### ■F.C.C. TSR Honda France アラン・デシエ選手

「メカニカルトラブルに見舞われた時もあり、チームの皆にとって大変なレースになりました。チームスタッフはピット作業で時間短縮に勤しみ、僕たちライダーはレース戦略の実行にベストを尽くして走りました。Yoshimura SERT Motul（スズキ）がリタイアした後は、僕の元在籍チームであった TATI TEAM BERINGER RACING（カワサキ）とのタイトル争いになりました。TSR Honda は 2018 年にタイトルを獲得したチームだったので、とても感慨深いです。このタイトル獲得に大きく貢献したジーノ・リアの回復を心から願っています」